

## 大切な家族と死別した深い悲しみに寄り添う遺族交流会を開催

～セラピーロボット「パロ」が語り合いのサポートを行います～

稲沢厚生病院（病院長：伊藤 浩一）は、自宅での看取りを体験した遺族に対する家族交流会を下記の通り実施します。グリーフケアとして同じ体験をした遺族が集まり、看取りを経験した当時の気持ちを語り合い寄り添うことで、喪失・悲嘆の緩和に繋がります。

### ポイント

- 大切な人と死別した悲しみを和らげるグリーフケアは国内普及の重要性が高まっています
- 訪問看護師による喪失の悲観・癒しのケアのミニセミナーを実施後に語り合いを行います
- 人に楽しみや安らぎなどの精神的な働きかけを行うセラピーロボット「PARO-パロ-」が参加者の語りのサポートを行います

日時：2023年11月11日（土）13：00～16：00

- 13：00～13：15 アイスブレイク 訪問看護師による余興（昨年：ハンドベル演奏）
- 13：15～13：30 訪問看護師による喪失の悲観・癒しのケアのミニセミナー  
悲しみを体験した心理について学びます。
- 13：30～14：00 参加者全員での交流（看取りのエピソードを共有）
- 14：00～15：30 小グループごとの交流（看取り体験を共有）
- 15：30～16：00 参加者同士、スタッフとの交流のフリータイム

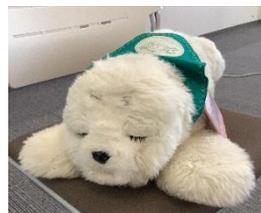
※昨年は最後に全員で「上を向いて歩こう」を合唱しました。

場所：稲沢厚生病院 南館4階 講義室（稲沢市祖父江町本甲拾町野7番地）

参加対象者：「訪問看護ステーションそぶえ」の利用者で自宅の看取り体験をした家族  
（自宅でのターミナルケアを行った後、病院で最後を迎えた利用者の家族も含む）

参加人数：15～20名程度

### < 昨年の遺族交流会の様子 >



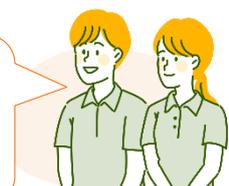
▶和やかな雰囲気の中、語り合いが行われました。セラピーロボット「パロ」を抱きながら語られる参加者も見えました。

### 参加者の声

「母が衰えていく姿を見るのが辛かったが、生きることのありがたさや人と触れ合うことの大切さを教わった」  
「痰の吸引時にフッと亡くなり今も痰の吸引の仕方が悪かったのかと悩んでいる。」

### 主催者の声

同じ体験をしたからこそ分かり合える部分があり、体験を聞くうちに自分も話そうと気持ちに変化する方もみえます。昨年度開催し、改めてこのような語り合う場が必要だと感じました。看取りを経験したご家族の深い悲しみに寄り添いながら支えていきます。



**< グリーフケアについて >**

グリーフとは、日本語で「悲嘆」といい、近親者との死別をはじめ、さまざまな愛情や依存の対象を喪失した際に生じる反応のことです。死別の悲しみは数か月から数年・長期にわたる方もいます。欧米ではグリーフケアの概念が広く知られ、様々なサポートを受けることができますが、日本では支援・ケア事業は地域でばらつきがあります。厚生労働省は 2021 年グリーフケアの充実に向け、流産や死産を経験したり病気や事故で子どもを亡くしたりした家族に対する自治体や医療機関によるグリーフケアサポートの実態調査を行いました。2022 年に国立がん研究センターが公表した「がん患者の療養生活の最終段階における実態把握事業（厚生労働省委託事業）」の調査結果では多死社会を踏まえた全ての疾患も含めた遺族を対象とする調査の重要性も提言されています。

**< 稲沢厚生病院「訪問看護ステーションそぶえ」について >**

小児から高齢者まで、病気や障害の程度に関わらず、住み慣れた家で療養したいという気持ちを大切にしながら、看護やリハビリテーションを 24 時間対応で提供しています。入院中から退院準備の支援や地域の在宅診療医と連携により、必要な医療・看護ケアが途切れないような支援を心がけています。

**■ 訪問看護の内容**

メディカルアロマ、リンパドレナージュの認定資格をもつ訪問看護師による緩和ケアや精神科医師、精神保健福祉士と連携した精神科訪問看護も行っています。患者さんの状態に合わせて専門性の高い看護師や栄養士なども訪問に同行しています。

その他、地域の医療的ケア児の通園通学支援に関する検討や認知症カフェの支援なども行っています。

▲ 3年ぶりの桜を見に利用者さんと外出



▲ 小児患者さんへ渡したスタッフの誕生日カード

**< 稲沢厚生病院 概要 >**

病院長：伊藤 浩一

診療科：全 20 科

病床数：250 床（一般病床 199 床・精神 51 床）

住 所：愛知県稲沢市祖父江町本甲拾町野 7 番地

稲沢市西部の中核病院として、急性期・回復期医療を提供しています。愛知県内に 2 つしかない精神科を有する総合病院（大学病院を除く）であり、身体疾患を合併した精神科患者の受け入れを行っています。

**本件に関する問合せ（訪問看護ステーション看護師への取材も受け付けます）**

JA 愛知厚生連 本部（住所：愛知県長久手市平池 901 番地） 経営企画課 広報担当 井桁（いげた）

TEL：0561-62-3162（経営企画課直通） FAX：0561-62-3182

E-mail：h.kikaku05@honbu.jaaikosei.or.jp WEB サイト：https://www.jaaikosei.or.jp/

※本件は 2023 年 9 月 27 日の J A グループ愛知記者会でリリースを行いました。